

滋賀県看護連盟だより

滋賀

し

が



第 47 号

令和4年1月31日発行

発行/滋賀県看護連盟 発行責任者/力石 泉
〒524-0037 滋賀県守山市梅田町2-1 セルバ守山112B TEL.077-514-1331
メールアドレス shiga-kangorenmei@extra.ocn.ne.jp

「届けよう看護の声を！」

私たちの未来へ」



ごあいさつ

滋賀県看護連盟

会長 力石 泉

謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

看護職の皆様には、様々な看護の現場において県民の皆さまに寄り添い、安心安全に過ごしていただける環境を提供できるよう昼夜を問わず努力していただいていることに、感謝と敬意を表します。

昨年皆様にご協力いただきました「新型コロナウイルス感染症に関する調査」におきましても、皆様が看護の責務を果たすため、自らの生活様式や働き方を変えるなど柔軟に対応していただいたことがよく理解できました。さらに、皆様のご家族や周囲の方々に様々な影響もありました。

看護職の皆様が、安心安全に働ける環境下で、日々の生活を自分らしく送るためには、様々な変革が求められています。今年 7 月には、参議院選挙があり、私たちの声を政治の場で実現していただける看護職代表者を送るための活動を強化していきたいと思います。

滋賀県看護協会との連携の元、皆様と一致団結して結果を出したいと思いますので、どうぞよろしくお願いいたします。



ごあいさつ

日本看護連盟

会長 大島 俊子

昨年は、COVID-19 の感染対策に明け暮れ、最前線で働く看護職に社会が注目し正当な評価を得た年でした。

皆さまの看護実践に、心から感謝と敬意を表します。

また、49 回衆議院選挙では、自民党が単独過半数を獲得し、日本看護連盟においても、2 人の議員を国会に送り出すことができました。

皆様のお力添え、ありがとうございました。

看護職給与の引き上げについては、当初の対象 20 万人を大幅に増員し 57 万人に、国の補助金で来年 2～9 月に 1%程度の引き上げを措置し、10 月以降は 3%程度を診療報酬で行うということです。この 3%が確実に看護職の基本給アップになったことを、各現場で見届けて頂きたい思います。

2022年の干支は、壬寅。壬は「はらむ」「生まれる」、寅は「演」に由来し「人の前に立つ」、演と同じ読み「延」から「延ばす・成長する」という意味が込められています。2つを組み合わせる壬寅には、「新しく立ち上がること」や「生まれたものが成長すること」の縁起のよさがあります。

7月には第26回参議院選挙が予定されています。「成長」「始まり」にふさわしい寅年に参りましょう。



看護職や関係組織の連携を強化し、 健やかな滋賀の実現に貢献

滋賀県看護協会

会長 廣原 恵子

謹んで新春のお慶びを申し上げます。

看護職の皆様には、新型コロナウイルス感染症に、最前線で日夜懸命に長期対応して頂いていることに心より感謝と敬意を表します。

滋賀県看護協会では、「新型コロナウイルス

感染症から地域の人々や看護職をまもる」という点から、協会全体や各地区支部において、情報共有や看護職のネットワークが進み、クラスター発生時における病院や訪問看護ステーション等における看護職員応援派遣も整備されました。県との協働による「ワクチン接種サポートナース」には、潜在看護職等を含め計 688 名が登録され、広域や市町ワクチン接種・保健所業務等に協力して頂いたことは感謝です。

ご承知の通り、日本看護協会は日本看護連盟の連携強化のもと、国に対して、全ての看護職の抜本的な処遇改善を要望され、その取り組みが進められています。看護界に山積する課題を共有し、その解決や今後に向けての看護政策実現は更に重要となってきています。

今年も滋賀県看護連盟との連携を強化し、看護現場の課題解決に向けての取り組みを進めたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

第 49 回衆議院議員総選挙

当選おめでとうございます！



衆議院議員
あべ 俊子

新年あけましておめでとうございます。
皆さまのご協力のもとワクチン接種も
進み、コロナ禍からの復興に光が見えて
参りました。感謝申し上げます。

昨年 10 月の解散総選挙では皆さまに大変お世話になりました。私の力不足にて小選挙区での勝利は叶いませんでしたが、皆さまのご支援により衆議院議員6期目を迎えることができました。そのご期待に報いることができるよう、さらに看護職の働く環境整備に努力して参る所存です。

昨年末、岸田政権下において看護師賃金の段階的な引き上げが決定いたしました。今後は全ての看護職への恒久的な賃金引き上げを求め、引き続き努力して参ります。また、今年は診療報酬改定が実施されます。新興感染症対応の他、医療従事者の負担軽減や、医療の効率化・適正化も重視される見込みです。

いつの時も、政策立案の基本となるのは、現場の声です。誇りをもって看護職が続けられる職場環境の整備に貴連盟の皆さまと一緒に取り組んで参りたいと存じます。本年も、ご指導賜りますようお願い申し上げます。



街頭にて新年のご挨拶



衆議院選挙



衆議院議員
たかがい 恵美子

清々しく希望みなぎる新年を謹んで
お慶び申し上げます。滋賀県看護連盟
の皆様には国民福祉の向上と看護政
策の推進に変わらぬご支援を賜り心か

ら感謝を申し上げます。また昨年は皆様の厚いご信任を得て、衆議院議員として新たな一歩を踏み出す栄誉に与りました。これからも現場第一の姿勢を貫いて地道に努力を積み重ね、さらなる成果をお見せできるよう精進する所存です。寒さ厳しい折、いのちの最前線では通常業務に加え、引き続き感染症対策に注力しなければならない状況が続きます。ご負担をおかけし誠に恐縮ですが、皆様の日々のご努力が、まさしく国民生活の安寧に直結していることを広く周知し、看護職の技術評価の引き上げと処遇改善及び働き方改善のために全力を尽くす覚悟です。ご多忙の毎日とは存じますがどうかご自身の健康と幸せを大切にされ、皆様にとって良き一年となりますようにご祈念申し上げます。



人生 100 年時代戦略本部



衆議院国会召集

滋賀県小選挙区では全選挙区で 自民党候補者が当選しました

おめでとうございます！

- | | |
|---------|--------|
| 第 1 選挙区 | 大岡敏孝氏 |
| 第 2 選挙区 | 上野賢一郎氏 |
| 第 3 選挙区 | 武村展英氏 |
| 第 4 選挙区 | 小寺裕雄氏 |



木村やよいさん

前回の選挙よりも 5,000 票以上獲得しましたが、残念ながら議席を獲得することができませんでした。

しかしながら今後も「看護と看護職のために働く」と決意されています。

今後のご活躍を祈念いたします。

近畿ブロック看護管理者等政策セミナー開催

日時：2021 年 12 月 4 日 10:00~16:00

場所：ホテルニューオータニ大阪 ウィステリア

滋賀県参加者：8 名

看護職の国会議員(たかがい恵美子 衆議院議員)や地方議員(田畑篤子 舞鶴市議会議員)と大阪選挙区国会議員(松川るい 参議院議員)の活動報告をお聴きし、多くの刺激と学びを得ました。



参議院議員 石田まさひろ 活動報告

新たな年を迎えましたが、滋賀県看護連盟の皆様いかがお過ごしでしょうか。昨年も、新型コロナウイルスとの戦いのなかで、看護職たちは日々、精神をすり減らしながら懸命に日本の医療を守って下さいました。滋賀県看護連盟の皆様にご心より感謝を申し上げます。今後経口治療薬の普及やワクチン接種が現場の負担軽減につながることを期待し、アフターコロナのスタートが切れるよう努力を重ねてまいります。

国会では再び参議院国会対策委員会副委員長を拝命し、交渉役として今年も走り回ります。まずは診療報酬改定、看護職の所得向上を含む本予算の成立を目指します。

今年は参議院選挙の年です。私たちの力を結集し、看護の力を世にみせられるよう頑張っていきたいと思います。私も精一杯務め上げます。そして看護職が「今日も良い看護ができた！」と感じられる環境を作るため、身命を賭して頑張ります。



全ての看護師の給与引き上げを木原内閣総理大臣補佐官に要望



看護問題小委員会

2021年12月11日(土)10:30~11:40 滋賀県会員との意見交換会(Zoom 会議)

石田議員は都道府県ごとに Zoom による意見交換会を開催。滋賀県では、8名の会員が参加。増えつつある発達障害や認知症の方々のコロナ禍における対応の実情が報告され、制度はあっても対応が追いついていない現状を、石田議員にご理解いただきました。

ともものう りお 氏 を みんなで応援しよう !!

日本看護協会参与 友納理緒氏が、次期参議院選挙候補予定者として

日本看護連盟推薦委員会にて全会一致で決定いたしました

看護師免許を持ち、「医療・看護にかかわる弁護士」として活動されている友納理緒氏は、衆議院議員の政策秘書を3年間経験し、看護職の力になりたいと強く思い、法律や制度を変えることができる「立法」の世界に踏み出すこと、つまり参議院選挙への出馬の意向を明確にされています。

東京都看護連盟に「ともものう りお を応援する会」が立ち上がりました。

滋賀県看護連盟もこの活動に賛同してみんなで応援していこうと思います。会員の皆様も、この活動にご参加いただきますよう、どうぞよろしくお願いいたします。



「ともものう りお を応援する会」への入会に関するお問い合わせは、滋賀県看護連盟事務所までご連絡をお願いいたします。

TEL 077-514-1331

FAX 077-514-1332

支部活動報告・活動予定 ☆ (今回のテーマ) ご当地果物紹介

訪問看護ステーション支部 支部長 向 美保

訪問看護ステーション支部は、1回/2か月支部会をZoomで開催しました。研修会は、「在宅における排泄管理～適切なオムツの選び方～」と題して、彦根市立病院の皮膚排泄ケア認定看護師である北川智美氏に講師をお願いしているところですが、一度は新型コロナが落ち着かず延期し、改めて1月22日(土)午後開催予定にしました。看護協会にて集合形式にしておりますがオミクロン株の発生などでZoomに変更させていただくかもわかりません。ぜひともご参加ください。無花果



湖北地区支部 支部長 高橋 ひろ好

今年度は、新型コロナ感染症で変化した看護現場の実際の声を、アンケート調査で集めることになりました。当地区支部でもできるだけ多くの会員の皆様から、「コロナ禍で看護現場や生活の面での変化や困ったこと」を集められるようにアンケート調査の意図を説明し、多くの声を集められるように回答への協力をお願いしました。また、職場の委員だけでも連盟の活動を共有できるよう、定例役員会の議事録を共有し周知に努めました。今後もオミクロン株の影響が懸念され、これまでのように活動できない状況が続くと予測されます。コロナ禍以前のように活動できませんが連盟に興味を持ってもらえるよう微力ながら少しでも声を上げていきたいと思っています。柿



湖西地区支部 支部長 土井 恵津子

今年度の活動報告と言いましても昨年度と同様、コロナ対応に追われ会員様との意見交換等は開催できませんでしたが、個人的には、こやり隆史議員、石田まさひろ議員、大岡としたか議員の方々から活動報告などを傾聴する機会ができ、また衆議院選挙では高島支部員さんと顔をつなげられてよかったと思える1年でした。アドベリー



大津地区支部 支部長 西村 宏美

年始より増えている新型コロナ感染者数。当地区支部においても病院間で情報共有しつつ感染対策に取り組んでいます。個別での研修会参加と看護部長会でものうりお氏の情報共有と応援体制づくりをしました。まだまだ、コロナウイルスとともに生きていくには課題があります。この時期を乗り越え春にはほっとしたいものです！比良スイカ



湖東地区支部 支部長 木村 千江

11月28日参議院議員石田まさひろ先生をお招きし、テーマ「新しい時代、未来に向かって看護の現場から政策につなげる」で講演をしていただきました。学生61名、会員33名、計94名と多くの参加がありました。今まで看護連盟はどのような活動をしているのかという声もありました。石田先生と直接お話しできたことは、私たちが当たり前に行っている看護が政策につながることに気づくことが出来、伝え続けることの必要性を学びました。彦根梨



東近江地区支部 支部長 久城 亜也子

私たちの生活様式を大きく変えたコロナウイルス感染症終息の目途はまだまだたちそうにありません。昨年度に引き続き、当地区支部での活動は自粛の1年でした。また、病院単位で看護連盟から脱退され、数も減少しております。次年度に向け、少ない会員数ではありますが少しでも他の病院と交流ができるように工夫をしていきたいと思っています。愛東ベリーA



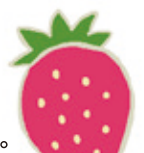
湖南地区支部 支部長 川田 節子

今年度も前年度に引き続きコロナ禍の活動であったため、支部会議や研修会を開催することが困難だった。今年度の活動目標としては「看護連盟をもっと知ってもらう」とし、若い世代に身近であるYouTubeを活用し動画を作成することにした。また動画作成は、初心者であるためマスコットなどを利用し作製予定である。今年度の活動として、医療安全を2月に予定しているが感染状況を見てから判断することにした。今後の予定としては、リスクマネジメントとしてライフワークの看護師の安全・事故防止について講義していただく予定である。守山メロン



甲賀地区支部 支部長 木下 幸恵

第49回衆議院選挙におきましては、看護現場で多忙な状況の中で、皆様方のご協力を頂きありがとうございました。全区で自民党の議員さんが当選されたことで、私たちの声を届けやすくなりました。「新型コロナウイルス感染症に関するアンケート」におきましては、会員の皆様全員ご協力いただきありがとうございました。今後、新たな感染症が発生した時活用できるよう冊子を作成していきます。3月に「リスクマネジメント」の研修を予定しています。皆様の参加をお待ちしています。苺



OB すずらん支部 支部長 井本 千鶴子

2021年度後期は、全県にわたって在住している支部会員をお願いをして、衆議院選挙の活動に参加していただくことができました。ご支援いただきました皆様には心より感謝いたします。今年7月の差議員選挙では、滋賀県のこやり隆史議員と看護職代表候補予定者の応援にも全力投球したいと思っています。2月19日、「女性議員が増えれば政策が変わり社会を変えられる」をテーマに元滋賀県議会議員長の西村久子氏を招いて、彦根市勤労福祉会館にて研修会を開催します。栗



研修会報告

すすらん OB 支部研修会

日時：2021年8月5日 14:40～15:30

場所：守山駅前コミュニティホール

テーマ：今こそ心のワクチン

『ほめ達ワクチンを接種しよう』

講師：井内律子大津市議会議員（日本ほめる達人協会 特別認定講師）

参加者数：9名



最初に支部集会を開催し、支部規約、活動方針、活動計画の各案件の承認を頂き、自己紹介を行いました。続いて研修会に移り、講演の中で、褒められると人は生き生きとして、自分自身も輝いてくる効果があり、お互いの安心感が生まれ信頼関係を深めることが出来る。特に、「ありがとう」は、褒め言葉の中で大切な言葉である等が印象的で、参加者からもほめる価値を発見して伝える事の大切さを再認識した等の感想を頂きました。最後に大岡敏孝衆議院議員の参加を頂き、子宮頸がんワクチンの推進やコロナ後の医療制度のあり方について意見交換を行い、研修会を閉じました。

湖東地区支部研修会

日時：2021年11月28日 10:00～12:00

場所：聖泉大学

テーマ：新しい時代 未来に向かって

看護の現状から政策につなげる

講師：石田まさひろ参議院議員

参加者数：94名



聖泉大学
新木 竜士



日本の看護の政策を変えた歴史であったり、自分の精神科棟勤務での体験談をもとにお話をしてくださりとでもおもしろく、またわかりやすく説明をしていただき貴重な講演を受けることができました。看護の政策については、現場の声を聞いてその声を実際に法律として考えていく、法律を考えていく上では、たくさんの方々の声や支えなどがないと難しいこともわかりました。今までの政策や保健師助産師看護師法の改正などは石田さんの現場の声を聞いていき、そこから新しい政策につなげるということとされていたことから、より働きやすい環境にしてくださっていると感じました。非常に面白い講演会で、良い学びとなり、私自身も将来的に看護師として頑張っていこうと思うことができました。

聖泉大学
西村 朱音



精神科病棟で、看護師が在宅生活中の患者のことが心配で訪問していたことが、訪問看護制度が作られるきっかけの一つとなったという話を聞き、制度というものは、在るからそれをもとに行動したり、看護をするのではなく、患者により良い看護を提供するための行動が、制度を作ることにつながるんだということを実感した。看護をすることも、私は看護師という職業だから看護を提供する、ということではなく、患者に元気になってもらいたいから、患者が心配で何か支えになりたい、できることをしたい、という思いが原動力となって関わっていくことが大切だと改めて感じた。

豊郷病院 福谷 満子

私は看護師になって1年7ヶ月、看護師としてのやりがいを感じられるようになってきたところです。そんな中、看護連盟の講演会に参加しました。私自身、政治に関心がなく、看護連盟の活動内容もよく理解していません。政策って？看護師と政策の関係は？とよくわかっていません。講師の石田まさひろ参議院議員、私の中の政治家のイメージとは程遠い気さくな雰囲気の方でした。話はご自身の精神科での看護師時代の経験で、現在の制度（訪問看護、デイケア、ショートステイ、グループホーム）ができるまでの楽しい奮闘記でした。社会復帰できるようにと患者さんを想い、考え、声に出し、行動し、その結果制度までの道すじができたのです。私も精神科で働いていますが、こうだったらいいのに、こうならないかなと考えることがあります。でもその考えをその場だけで終わらせています。声に出さなければ何も変わりません。大切なのは自分の考えや思いを発信していくことだと学びました。講演会の話や他の看護師さんの意見はとても良い刺激になりました。今後、看護師として思いや考えをどんどん発信していけたらと思います。

感染症研修会

日時：2021年10月23日 13:30～16:00

場所：ライズヴィル都賀山 アゼリア 参加者：38名

内容：報告 ① 看護管理者としてのコロナ対策の実際

ひかり病院 看護部長 堀池公子氏

② 感染管理認定看護師としてのコロナ対策の実際

彦根中央病院 瀧上義子氏

③ 新型コロナウイルス感染症に関する調査中間報告

滋賀県看護連盟 副会長 三上房枝

グループワーク

3つの報告を受けた後の意見交換では、病院の外来や役割の異なる病棟、また訪問看護や施設、精神科、認知症の方への対応などそれぞれの働く場や対象に応じた様々な課題が浮き彫りにされると同時に、様々なアイデアも出てきました。お互いが工夫して成果を上げている事の情報共有の必要性を感じました。



新型コロナウイルスに関する調査(中間報告)



- ▶ 実施期間 令和3年9月
- ▶ 調査対象者
令和3年度
滋賀県看護連盟会員:466名
- ▶ 配布回収方法
施設代表者手交
個別封書回収
個人に郵送配布
- ▶ 回収状況 回収数:326

支部名	回収数
大津地区支部	58
湖南地区支部	26
甲賀地区支部	12
東近江地区支部	28
湖東地区支部	83
湖北地区支部	46
湖西地区支部	59
訪問看護 ステーション支部	6
不明	8
計	326

コロナ感染症対策の影響下における(費やされたための)困りごと

- ① コロナ病棟新設における
 - ・後方支援等の方向性が定まらず、その都度の対応に振り回された。
 - ・残業・夜勤も増えて、身体を壊さず、どうやって働けばいいのかわからない
 - ・感染対策の根拠や方策の共通理解に時間がかかる。
1つの方向性に時間をかけているうちに、新しいエビデンスや問題・課題に見舞われ、それが変更される。2019年12月末からこの繰り返し、数々の対応から言えることは「人の不足」である。
- ② 看護管理者から
 - ・感染症対策により仕事量が増え自分のキャパを越えている。自分でタイムマネジメントするしかないがストレスが溜まる。
- ③ 中小病院・一般病院から
 - ・全てのケアに感染対策が必要で、そのケアは複雑化し、仕事量が増える。
 - ・現状の仕事+αの仕事が増えて時間外が発生したが、時間外手当がもらえない。
 - ・面会禁止で荷物の受け渡しの負担が増大している。窓口対応に時間が取られる。
- ④ 精神科病院から
 - ・認知、知的発達障害患者への感染症への対応が困難、業務改善・応援でも疲弊
- ⑤ 訪問看護提供における
 - ・ガン末期で入院している方が、家族と会えないことで、在宅療養を選び訪問の依頼が増えた。
 - ・感染症対策に費やされ、時間がかかり疲弊している。
- ⑥ 看護学生と看護師等学校養成所から
 - ・基礎教育の段階からコロナの感染を受けている。実践力の低下、社会人基礎能力の低下、メンタル面の脆弱さゆえ指導の困難さを抱えている。
- ⑦ 患者・その家族への影響
 - ・家族面会が制限され高齢者の患者さんにとっては、非日常の毎日が続く
- ⑧ 看護職者のメンタルヘルス
 - ・PPE(個人用防護具)装着することによる、体調の変化と精神的ストレス、コミュニケーションが困難、一つ一つの業務に時間がかかる。
 - ・自己感染への不安、又、体調不良の時の判断に迷う、休むべきか出勤か?
 - ・休むことで職場に迷惑をかける。
- ⑨ 看護職の家族への影響
 - ・家族と同居していたが、両親が高齢であるため、別居した。
 - ・残業が多く子供の幼稚園等のお迎えに影響を及ぼした。
- ⑩ ワクチン接種について
 - ・看護職の業務が増えているのに、ワクチン接種業務が追加されたが、その業務の時給や手当等は従来の業務より高額であり不公平さを感じる。
 - ・休日地域にワクチン接種の協力を行うことで体力は消耗し、本来の勤務に支障をきたす。
- ⑪ 会議・研修がすべてリモート会議になったことにより
 - ・新人技術教育・接遇教育の不十分 職員への学ぶ意欲の低下・コミュニケーション能力の低下
 - ・不慣れなZoom会議の準備等に時間がかかり、ストレスがかかる。

友納理緒氏 初めての来県

済生会滋賀県病院と淡海医療センター・淡海ふれあい病院を訪問

2021年10月13日(木) 10:00~12:30

滋賀県で、新型コロナウイルス感染症患者を受け入れている病院に、友納理緒氏と訪問させていただきました。実際の病棟を見学させていただき、看護部長、看護師長さんから現状をお聴きすることができました。

友納氏は病院としての様々な取り組みに感心されたり、ご苦勞を聴かれて、時間があればさらにお話をお聴きたいようでした。看護職の方も、もっと相談したいと言われていました。新型コロナウイルス感染症に関する現場の声を届ける機会となりました。



済生会滋賀県病院



淡海医療センター・淡海ふれあい病院

令和4年度入会受付が 始まりました

看護の力を結集し、
現場の声を国政に届けよう！
あなたの入会をお待ちしています！

年会費

日本看護連盟会費	5,000 円
滋賀県看護連盟会費	4,000 円
計	9,000 円

賛助会員 年会費 1口 500 円

看護連盟の主旨にご賛同いただける
方であればどなたでも入会できます。

学生会員 年会費 無料

看護師または准看護師の資格を得る
ために就学している看護学生で、看護
連盟の主旨にご賛同いただける方
であればどなたでも入会できます。

賛助会員、学生会員ともに各支部または
滋賀県看護連盟までお申し込みください。

叙勲おめでとう ございます

瑞宝双光章

前 長浜赤十字病院看護部長
呉竹礼子さん

瑞宝単光章

前 豊郷病院看護部長
力石 泉さん



日本看護連盟 創立 60 周年記念

受賞おめでとうございます！

役員功労者 野一色信子さん

職員功労者 甲斐 祥恵さん

今後の活動予定

滋賀県看護協会・滋賀県看護連盟共催 看護管理者研修会

日時 2022年3月5日(土) 9:45~12:00

場所 滋賀県看護研修センター

テーマ 「看護と法律～看護管理実践や労務管理に活かした看護職としての法的責任～」

講師 (公社)日本看護協会 参与 友納 理緒 氏

地域包括ケア研修会

日時 2022年3月19日(土) 13:30~17:00

場所 滋賀県看護研修センター

テーマ 「日常の療養支援における看・看連携体制構築のプロセスを学ぶ
～外来報告制度の前に外来看護の役割を考える～」

講師 在宅ケア移行支援研究所 宇都宮 宏子 氏

手作りグッズ 読者プレゼント



応募 方法

滋賀県看護連盟「読者
プレゼント」係までご
応募ください。

当選者の発表は商品の発送をもって
発表にかえさせていただきます。
いただいた個人情報は、商品発送の
みに使用いたします。

看護師さん
介護士さんのみなさん。
少しでもぐっすり
眠ってください。

昨年は100年に一度とも言われる、新型コロナウイルスによるコロナ禍の中で、私たちは先の見えない日々を送り続けて参りました。そんな困難な状況の中、医療現場に従事する方々の姿に私たち全国民が胸を熱くし、感謝の気持ちを強く抱きました。私たち東洋羽毛グループは創業以来70年、一貫して医療現場に従事する看護師さんや介護士さんをはじめ医療従事者の方々に、質の高い眠りをお届けし、高いご支持をいただけて参りました。

日々厳しい医療現場で仕事の責務を果たす方々にとって、一日の仕事を終え、ぐっすり眠ることは何より自分へのほうびなのです。私たち東洋羽毛グループは「健康貢献企業」として、社会に貢献するために、どこよりも優れた高品質の羽毛製品をつくり続けて参りました。

質の高い眠りは、疲労への回復力が増し、免疫力を高めることができます。

ひいては、新型コロナウイルスからの感染防止にもなります。

私たちは看護師さん、医療従事者の方々から「ぐっすり眠れた、疲れがとれた」

そう言っていたのが何よりうれしいのです。

東洋羽毛工業株式会社

(2021年1月4日 日本経済新聞 広告より抜粋)